

◆ 第38回 近畿教職員弓道大会報告

- ・ 平成21年2月11日(水) 橿原公苑弓道場
- ・ 主催・近畿教職員弓道連盟、奈良県弓道連盟、
- ・ 近畿2府4県から男子34名、女子9名(男子団体12チーム、女子団体4チーム)が参加

奈良県からは、男子6名(団体2チーム)が参加し、各人12射(四ツ矢3回)の競技を展開しました。天候にも恵まれ、例年よりも暖かな一日でした。

開会式では、吉本清信大会会長からご挨拶をいただき、矢渡し(射手 吉本会長、第一介添 松本、第二介添 竹田)のあと、競技を開始しました。各部の優勝は以下のとおり。

- ▽ 男子団体の部(36射)・和歌山チーム(21中)
- ▽ 女子団体の部(24射)・兵庫チーム(17中)
- ▽ 男子個人四段以上の部 田中康雄(和歌山・O. B)
- ▽ 男子個人三段以下の部 藤原淳(奈良・香芝中)
- ▽ 女子個人の部 吉森範子(兵庫・龍野高)

藤原先生と吉森先生は、2年連続の優勝です。

女子個人の部では、優勝した兵庫の吉森先生と和歌山の石本先生が、9射目までともに皆中で、最後の3射で11中と10中で決着するという高的中の競技を展開されました。また、男子団体、女子団体では、2位・3位決定競射がともに3本目に至る接戦でした。

閉会式では、成績発表・表彰のあと、和歌山の田中康雄先生にご挨拶とご講評をいただきました。

参加された先生方のご協力のおかげで、大会はスムーズに運営され、無事に終わることができました。特に吉本会長には、お忙しい中ご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。また、大会運営にご協力いただいた先生方に、この場をかりてお礼申し上げます。

【奈良県関係競技結果】

▽男子団体の部

第2位 奈良A

大西 敏彦(橿原高) 藤村 佳照(磯城野高)
井戸上博一(奈良北高)

第4位 奈良B

松本 高佳(法隆寺国際高) 藤原 淳(香芝中)
竹田 浩一(橿原高)

第2位~第4位は同中(18中)のため、一本競射により決定

▽男子個人三段以下の部

第1位 藤原 淳 (香芝中)

▽男子個人四段以上の部

第2位 大西 敏彦 (橿原高)

第3位 井戸上博一 (奈良北高)

(報告者 松本 高佳)

◆ 平成20年度 奈良県中学校選手権大会

日時:平成21年3月8日(日)

主催:奈良県弓道連盟

会場:橿原公苑弓道場

種目・種別:男女近的 個人戦および学校対抗戦

参加者数:男子90名、女子103名

【個人戦】(各人4射2中以上で決勝進出、決勝進出者は再度4射し、計8射の的中数で順位を決定する。)

▽男子

- ① 吉田 大斗(香芝) ②片山 大介(香芝)
- ③ 西中 一貴(橿原)

▽女子

- ① 岡本 彩花(香芝) ② 橋本 未来(橿原)
- ③ 上山 幸恵(天南)

【学校対抗戦】(4人1チームのトーナメント方式)

- ① 大成中 ② 橿原中 ③ 白橿中

- ▶1回戦 橿原中(12中)○ 対 天南中(7中)×
香芝中(6中)× 対 白橿中(7中)○
- ▶準決勝 八木中(3中)× 対 橿原中(7中)○
白橿中(6中)× 対 大成中(7中)○
- ▶決勝戦 橿原中(6中)× 対 大成中(9中)○
- ▶3位決定戦 八木中(7中)× 対 白橿中(8中)○

注:前年度優勝校の八木中は第1シード、第2シードは抽選により大成中。



3月6~8日、中央道場で、平成20年度講師研修会が行われました。今年は、小笠原流宗家をお招きして、「礼法の基本」を研修しました。その時、宗家は礼法の基本は、武道として、足腰を鍛えることが大切であると説明されました。

立ったり、座ったり、歩いたりの実習は、平均年齢68歳の範士の先生方にはたいへん応えたようです。皆さんも、若いうちから足腰をしっかり鍛えておきましょう。

武道に足腰の鍛錬は必修です。(県連会長 吉本)

■ 第5回大学連合会講習会報告

2月15日 橿原公苑弓道場 参加者39名
主任講師 竹村邦夫県連副会長
講師 指導部 上田康夫部長・吉岡三保子
平木一史・岡本薫子

奈良県弓道連盟大学連合会の射技・射術の向上と大学間の親睦を目的とし、各大学のキャプテン・リーダー等を対象とした講習会が行われた。午前には上田講師による矢渡し（介添え岡本、平木）と審査の間合いでの一手行射、および竹村主任講師からの全体的な講評が行われた。午後からは基本体の練習の後、竹村主任講師より「美しく見せること」具体的には、袴の付け方、足踏み、大三の取り方、大三からの引き分け等について説明がなされた後、班別射技研修が行われた。

最後に主任講師の「弓道は精神格闘技である。正しい方向に向かって努力を続けてほしい。」という言葉で講習会は締めくくられた。

参加大学は以下の通り

奈良女子大学、奈良教育大学、奈良県立医大、帝塚山大学、天理大学、奈良大学、（指導部 平木一史）



わかくさ支部 編



わかくさ支部は1983年（昭和58年）わかくさ国体を機に発足してから早や26年が経過し、この間諸先輩方のご努力よろしきを得て現在に至っております。橿原中学校弓道場を畴とし日々練習に励んでいます。練習は毎週月、木、土曜日の19:00から21:30とし、木曜日は橿原市弓道教室と供用になっています。➤

最近では弓道教室の卒業生や学生など若い会員の数も増え始め、以前に増して活気あふれる道場となっています。また毎月第一火曜日には有志による勉強会を外部より講師の先生を招いて開催しております。早いもので50回を数え、平成20年8月には吉本会長、西中副会長、阪中事務局長にお越しいただき第50回記念勉強会を盛大に催したところで

春は桜花爛漫、夏には虫のすだき、中秋の名月の頃には観月射会、冬には合宿兼寒稽古として厳寒の竹林院で宿泊研修を行うなど四季折々の変化を愉しみながらの練習は、ともすれば単調で独りよがりになりそうな己の弓を見返す良いきっかけとなっています。特に道場の照明にぼんやり浮かび上がる夜桜はため息が出るほど美しく、一見の価値アリです。

中学校の道場ということもあり道場整備、安土上げ等は中学校の弓道部員と共同で行っています。昨今の中高生の非行に比して弓に取り組んでいる学生の素直さ、礼儀正しさに日本の未来も明るいなど感じる次第であります。（大袈裟??）また未来の会員獲得のため「わかくさ」の名前の宣伝にも余念がありません。

トピック1:平成生まれ会員の加入

2008年度は平成生まれが初めて高校を卒業する年で、わかくさ会にも平成生まれの新会員が5人も加入してくれました。この5人と言う数はおそらく県内支部の中で1番ではないかと思えます。この間まで爺が2、3人で寂しく練習していたのが嘘のようで、今では老若男女入り乱れての活気ある練習風景となっています。

トピック2: My 道場の建設

わかくさ会相談役、森昌彦会員（錬士六段）は弓道好きが昂じて自宅裏手に平成16年、My 道場を建設しました。1人立ちの射場ですが安土・道場とも立派な造りで、



特に安土後ろに見える耳成山と射場内の囲炉裏は風流そのものです。今はご本人と一部会員のみでの使用となっていますが、近い将来、事業（自動車整備）をご子息に譲られた暁には皆に広く開放し自由に弓の引ける環境を整えたいとのこと。

記、わかくさ会、広報役 瀧井 浩一郎
文責、わかくさ会、代表幹事 清水 勝